

圧力炊飯器を安全にお使いいただくために

日頃は、三洋製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。圧力炊飯器は炊飯中に内部が高温になるため、取扱を誤ると危険です。安全に、末長くお使いいただくために、下記にご留意いただきますよう、お願い申し上げます。

警告

外ぶたはフックボタンに触れないよう、『カチッ』と音がするまで確実に閉めてください。

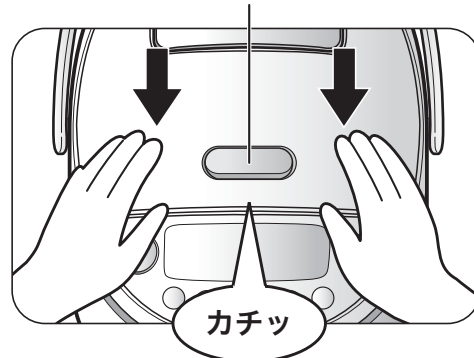
- 圧力炊飯前にフック部、つゆ受け部、ストッパー部、内ぶたパッキンや蒸気ガイドの周囲に米つぶ、ごはんつぶや異物がないことを確認し、『カチッ』と音がするまで確実に外ぶたを閉めてください。米つぶ、ごはんつぶや異物があると外ぶたが完全に閉まらず、外ぶたが開いたり、炊飯中に外ぶたから蒸気がもれ、やけどやけがををする恐れがあります。『カチッ』と音がしない場合は、「取扱説明書のお手入れのしかたのページ」をご覧ください。
※ごはんつぶがかたまると、外ぶたが開かなくなることがあります。

外ぶたの閉めかた

フックボタン



必ず行う



警告

やむを得ず、炊飯中に外ぶたを開けるときは、下記に従ってください。



必ず行う



1. 蒸気ガイドの近くに人がいないことを確認してください。
2. 切/とりけしボタンを押して、炊飯を中止します。
※蒸気が、蒸気口から勢いよく出ますので注意してください。
3. 約4分間待ち、「圧力」表示(点滅表示)が消え、蒸気が出ないことを確認してからフックボタンを押します。
※切/とりけしボタンを押した直後に外ぶたを開けると、やけどを
する恐れがあります。
※「圧力」表示が表示されない商品もあります。
その場合も約4分間待ち、蒸気が出ないことを必ず確認してから、
フックボタンを押してください。

警告

蒸気口、蒸気ガイドに手を触れないでください。

- 炊飯中は蒸気口より、蒸気が勢いよく出るので、やけどの恐れがあります。手や顔を近づけないでください。
また、乳幼児や子供には、蒸気ガイドや蒸気口に近づけさせないようにご注意ください。



接触禁止



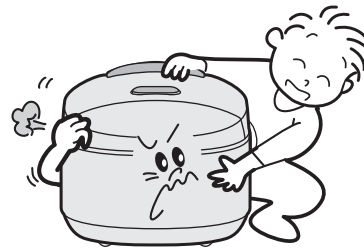
警告

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わないでください。

- やけど・けが・感電する恐れがあります。



一般的な禁止



警告

圧力炊飯中は、絶対にフックボタンを押さない
また、外ふたを開けたり、本体を動かしたり持ち運びしない



一般的な禁止

- 内容物がふきだし、やけどやけがをする恐れがあります。
また、うまく炊けない原因となったり、外ふたが開かなくなります。

警告

取扱説明書に記載以外の調理には、絶対に使わないでください。

- 調圧孔や安全弁がふさがれて、蒸気や内容物が噴出して、やけどやけがの恐れがあります。

特に下記の調理にも使用しないでください。

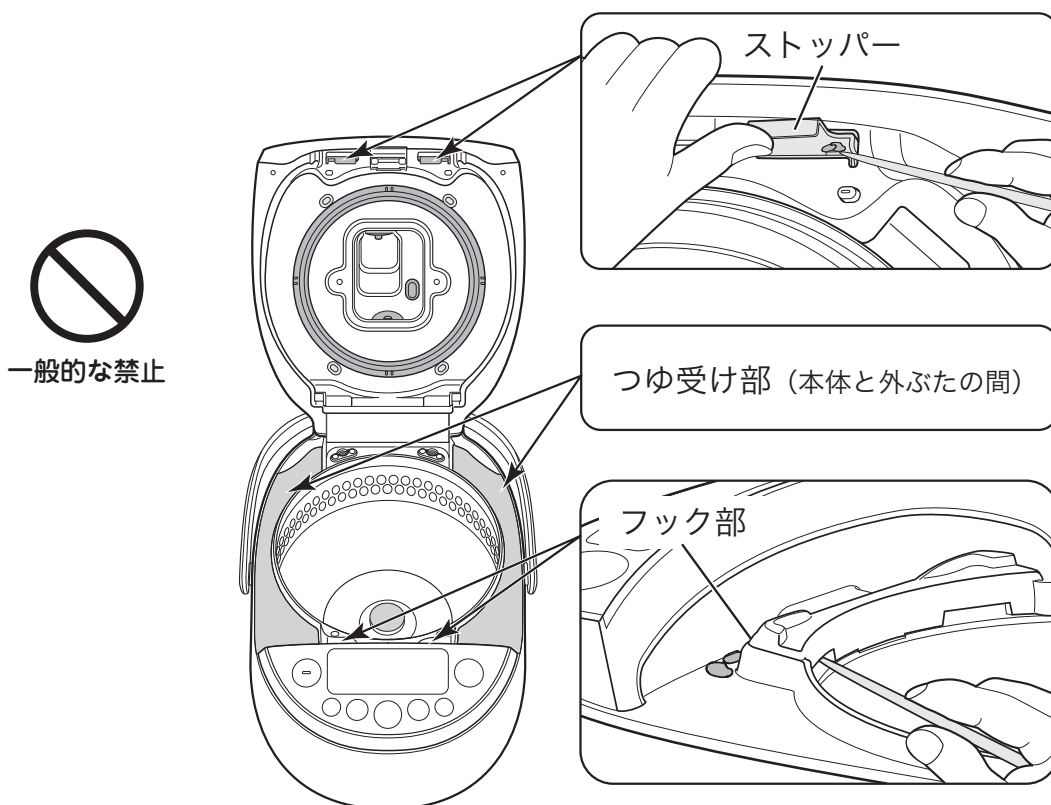
- * ノリ状になる「カレーやシチューのルー」などの調理
- * 急激にあわのでる「重そう」などを使う調理
- * 市販の炊飯器で作る料理本などに記載してある調理
- * ポリ袋などに食材を封入したパッキングの調理
- * 調圧孔をふさぐ恐れのあるトマトや野菜の調理
- * 調圧孔をふさぐ恐れのあるクッキングシート、アルミ箔、ラップを使った調理
- * 分量のふえる「煮豆」などの豆類の調理
- * 豆類を使った調理
- * 多量の油を入れる調理



警告

圧力炊飯前に、フック部、つゆ受け部やストッパー部に米つぶやごはんつぶなどが入り込んでいないか確認してください。
入ったまま、外ぶたを閉めないでください。

- 米つぶやごはんつぶなど異物があると外ぶたが完全に閉まらず、蒸気もれたり、炊飯中に外ぶたが開いて、やけど・けがの原因になります。



ごはんつぶなどが入り込んでいる場合はようじなどで、かき出してください。
(お手入れについて詳しくは、「取扱説明書のお手入れのしかたのページ」をご覧ください)

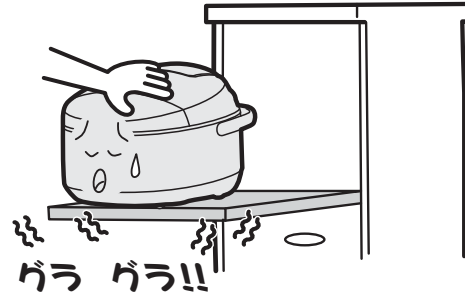
⚠ 注意

荷重強度が不足している不安定な所では使わないでください。

- キッチン用収納棚や不安定な台など（蓋の開閉時、重量がかかります。）荷重強度は、1.0Lタイプで15kg以上、1.8Lタイプで20kg以上のものをお使いください。



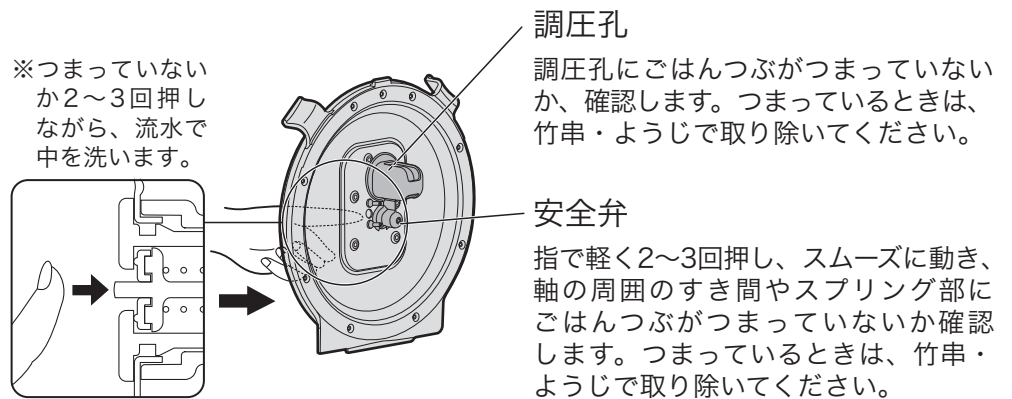
一般的な禁止



ご使用上の ご注意

炊飯の前に必ず、内ぶたの調圧孔、安全弁、内ぶたパッキン、負圧パッキンにごはんつぶなどが付着したり、つまっていないか確認してください。

- ごはんつぶなどが付着したり、つまったまま炊飯すると、蒸気もれたり、外ぶたが開いて、やけど・けがの原因になります。お手入れについては、「取扱説明書のお手入れのしかたのページ」をご覧ください。



うまみ循環ユニット・調圧孔・安全弁・減圧孔が目づまりしたまま使わないでください。
うまく炊けない原因となります。

- うまみ環境ユニット・調圧孔や安全弁にごはんつぶが付着したり、目づまりしているときは、きれいに取り除いてから使用してください。
- 内ぶたのツメが折れたまま、使用しないでください。

